

成果報告書

(地域文化倶楽部創設支援事業)

大手前大学

所在地	兵庫県西宮市	設立年	1966年
運営主体	大手前大学 さくら夙川キャンパス		
事業目標	<p>○演劇を主体としたワークを展開することによって、豊かな感情表現を醸成させる。</p> <p>○参加者それぞれが今後、「地域のリーダー」となれるような人材を育成する。</p>		
きっかけ	<p>感情表現を中心としたワークは、往々にして俳優養成所への所属・加入が求められるケースが多い。すなわち、学びたい意欲はあれど、参加に至るには敷居が高いと思われるがちな現状であると言える。そこで、本学の学びのひとつである「映画・演劇専攻」で蓄積してきたノウハウを活かせると考えた。俳優教育を専門とする教員がワークショップを実施し、外部有識者の協力を得つつ舞台を完成させることを目標にする。ここに近隣の児童・生徒に参加してもらい、表現することの楽しさ・喜びを知ってもらうことで、地域の活性化にも繋がるだろうとの思いがきっかけである。</p>		
団体・組織等の連携			
活動場所	大手前大学 さくら夙川キャンパス CELLフォーラム		
活動概要	<p>大手前大学内の施設を使い、「からだところの表現」計4回／「音楽と声の表現」計3回／「リズムとダンスの表現」計3回／「劇の発表に向けて」計3回(最終日は成果発表会)の合計13回のワークを実施する。</p>		

○本事業による成果

《事業の成果》

- ・参加者11名のうち、ほとんどは自ら志願して応募をしてきた(保護者の勧めは1名のみ)。そのことから、表現そのものを実践的に学ぶ機会の需要性が高いことが窺えた。
- ・中学の部活動に直結させるなら演劇部となるだろうが、所属した際にはその自信からリーダー的な存在になり活動を牽引できる人材になることが期待できる。また、人数がひっ迫している学校においては、本講座が設けられることによってこちらのみへの参加を希望するケースも生まれるであろう。
- ・スタッフワークに関して、プロで活動される人材と触れる機会を設けられたことにより、技術的な悩みが生じた際に連携をとることができるようになった。

《参加者アンケートより》

- ・「先生が優しくて、声掛けが上手で、毎週土曜日が楽しみです。初めて演劇に挑戦しましたが、舞台に立つ楽しさを学びました。」(小学4年女子)
- ・「演劇で漫画みたいな表現を実際にすることができたから非常に楽しかった。」(小学5年男子)
- ・「歌は難しいけれど、ダンスは意外と簡単。みんなでセリフを合わせるのが楽しい。セリフを覚えるのは時間がかかりそう。大きな声を出すのが苦手。」(小学4年女子)
- ・「コロナのせいで、あまりマスクを外して何かをしたりみんなと接触したりする事ができなくなってしまったけどそれでも先生方は、工夫して色々楽しい事を考えていてくれてとても嬉しかったです。」(小学6年女子)

《保護者アンケートより》

- ・「毎回のレッスンを楽しみにしております。家でも積極的に練習したり、大きな声で歌ったりするようになり、子どもの成長を感じます。」
- ・「人前で話をする、話す、思いを伝えるということはどんな仕事でも必要かつ重要な能力と思います。子供たち全員が、練習を重ねるとともに見違えるように自分の思いを表現する力を身に付けていく様を見ると非常に頼もしく、かつこういった経験が義務教育で受けることができたならどんなに良かったかと思ひました。」
- ・「最初の方の内容(伝わるように伝える等)は、演劇だけでなく、コミュニケーションの基本で、とても大切なことです。小学四年生のこの時期に教えてもらえて、大変良かったと感じています。」
- ・「その道のプロの方々が何人も関わってくださっていることがわかって、なんて贅沢なワークショップなのだろうと思います。」

○児童・生徒への指導に関する工夫

- ・感情表現のアプローチのみではなく、外部指導者として声楽・ダンスのプロフェッショナルや音響、照明、美術の技術職においても専門家を有することでより深い関心、理解を促すことを意識した。
- ・大学のゼミナールに所属する学生の研修も兼ね、現場で一緒に活動してもらうことにより、参加者においてもより近い年齢とコミュニケーションができる場を提供した。また、参加学生には、表現指導をする際のポイントや導き方、考え方などを時間外を使ってレクチャーを重ねた。
- ・従って、今後、部活動の顧問教員から実技的なワークショップなどの要望が生じた場合に、複数人を派遣、対応できる仕組みを構築できた。

○運営上の工夫

- ・今回連携が適った「宮水ジュニア」は、西宮市が平成16年から行っている地域活性活動である。対象を小学4年生から中学3年生までの6学年とし、春と秋の年2回、西宮市内の公立小学校・中学校の全生徒に一律配布しているもので、保護者にとっても馴染みの深いものとなっている。募集に関してこの媒体を活用できたことが一番大きい。
- ・受講者当人もさることながら、アンケートからは保護者の満足の声が多いことが覗えた。情操教育への理解や関心を深めることで、口伝による波及も期待できる。

○継続的な運営に関する課題・展望

- ・活動場所においては、大手前大学のキャンパス内施設を使用することが可能である。関係者が係わることで無償使用が適うため、費用はかからない。
- ・西宮市の地域学習推進課からの発信によって、講座の信頼性が高まっている。
- ・活動経費に関しては、簡素化することにより負担を抑えることができる。
- ・指導者の一人は専門の研究分野であるため、無償で活動することが可能となる。

○令和5年度からの学校部活動の段階的な地域移行に関する方針・計画

《部活動の意義と部活動の地域移行の関係性》

とりわけ部活動においては、顧問の活動意欲や方針によって温度差が生じるケースが多い。進め方ひとつによって部員にとっては開放とも圧迫とも受け取られるだろう。この点においては、部活動の意義を論じる前に、主体となる生徒本人の意欲向上を考える必要があるが、本講座の存在によって平素の部活動とは違う環境を与えることができ、活動に対する柔軟さが生まれてくる筈である。上下関係をさほど気にしなかった小学生時代に比べ、中学生になると先輩後輩といった序列が生じ、その中で人間関係を学んでゆくのだが、講座の参加者枠は小学4年生から中学3年生と幅を持たせている。そのため、最上学年となる中学3年生においては、年齢を意識した立場を自覚し、どうすれば有意義なコミュニケーションが図れるかを考える力を自ら養生することとなる。

本講座の活動が今後認知されて行けば、様々な意味合いにおいて地域移行は段階を踏まえれば可能であると考えられる。教員においては、その活動を自由に見学することによって、より新しい見解を見出すことができるであろうし、相談機関として充分活用して頂きたい。

《学校、社会教育(教育委員会、社会教育施設)等の役割分担の検討》

今回の企画に関しては、従来西宮市が進めていた施策に大手前大学が後乗りした形となっている。

市政にとっては子供たちの学びの充実が主眼であるし、学校においてもそれは同じである。座学的な学び以外の情操教育は、豊かな人材を育成するためにはもはや必要不可欠なものだ。小中学校・大学・市政との役割分担と連携や役割分担を考えるにあたっては、むしろ一歩前進を果たせたことになる。

《人材確保、育成の方策》

大手前大学には映画・演劇専攻がある。今回、演劇指導に関心がある学生に声をかけ、ボランティアとして共に参加してもらった。単にシアターゲームに加わるだけでなく、その意図を後にレクチャーすることで理解に繋げる。そうすることで、例えば過去に自身が在籍していた演劇部などに出向いた際には、顧問教員と共に指導に加わることもできるだろう。

《安全・責任体制の構築》

参加者全員に対して生涯保険をかけることで、不慮の事故が起こった場合の措置とした。

《教員及び子供の部活動負担軽減》

今回に関しては、結果的に部活動に参加している生徒がいかなかったため直接的な効能は検証できないが、これが継続し同等の部活動へ参加した際には、部活動の運営の一助を担える感性を持って取り組むことができるだろう。すなわち、それが教員にかかる負担の軽減に繋がる。また、拘束される時間などの都合により部活動への参加が適わない生徒にとっては、代替となる場所となればよいと考える。

《安定性・継続性の確保》

大学施設は、廃校にならない限り継続する。本講座に取り組むことは指導者の研究素材ともなり得ることも大きい。

仮に学内施設が使用できなくなったとしても、市政との連携が適っているため、活動場所の相談が比較的容易であるのもメリットのひとつである。

《活動経費の負担の在り方、確保の方策》

行うワークそのものは、幸い費用がかからないものばかりである。経費を設けられなくなった場合に関しても、成果発表として大きなステージは用意しにくくなるが、従来簡易であっても工夫で乗り切る叡知を養ってきた。満足に至る発想に至る道筋は用意している。

《学校施設設備の開放の方針》

大学内の施設を使用することとその意義は、既に運営母体である学校法人とは連携済みである。

《ICTの活用》

今回は事務連絡以外で使用することはなかったが、指導者にはオンラインツールを用いて指導している経験もあるため、場面に応じて適用させていくことはやぶさかではない。

参加者 (予定人数)	小学校4・5・6年生 中学校1・2・3年生 合計12名 ※応募者が12名を超えた場合は抽選(地域学習推進課の抽選方法に従う)。
募集方法	西宮市産業文化局 地域学習推進課が主催する「宮水ジュニア」での広報による告知
指導者	実技指導を専門とする大学教員 及び教員と連携している音楽家・ダンサー等
移動手段	保護者による送迎
活動費用	基本無料で実施
スケジュール	《基本活動》隔週土曜日10:00～11:30 《年間スケジュール》 前期(6月～10月)・後期(11月～翌年3月)／各10回ずつ。 各期の最終週で簡易的な舞台発表を準備。
保険加入等	兵庫県職員互助サービスを代理店とした傷害保険





